

## プロフィール

活動地	鳥取県米子市	
団体名	医療法人養和会メディカルフィットネスセンターCHAX	
活動名称	皆生スポーツ広場	
PRポイント	スポーツを楽しみ、共生社会の輪を広げよう！	
連携している団体等	特別支援学校、専修学校・各種学校、スポーツ団体、社会福祉法人、病院、行政(教育委員会)、その他(鳥取県障がい者スポーツ指導者協会)	
活動分野	スポーツ	
主な対象	肢体不自由	
団体の規模	職員 9名	

## 活動の説明

① 活動内容	<p>平成 28 年度からスタートした「皆生スポーツ広場」は、鳥取県立皆生養護学校（肢体不自由・病弱特別支援学校）の体育館を使用し、毎月 1 回 2 時間、土曜日の午前に活動しています。鳥取県立皆生養護学校の在校生や卒業生を主な対象とし、参加費は無料です。慣れ親しんだ体育館で施設設備が整っており、安心・安全に活動できています。スポーツ活動の内容は、理学療法士によるストレッチ指導、感覚統合を取り入れたレクリエーションスポーツや障がい者スポーツを中心としたメニューです。例えば、レクリエーションでは「歌」「だるまさんが転んだ」「鬼ごっこ」「リレー」「風船バレー大会」など、障がい者スポーツでは車いすスラロームやボッチャなどを行っています。メニューによっては歩行可能な方も車いすで参加していただき、皆が同じ目線でスポーツ活動を楽しめるよう工夫しています。特別行事として、全国障害者スポーツ大会陸上競技の練習会や大会参加、ボッチャをとおした韓国や日本代表選手との交流、特別支援学校の放課後ボッチャ練習等も行っています。</p>
② 活動の経緯・体制	<p>特別支援学校の在校生や卒業生が地域でスポーツ活動に参加する機会は少なく、継続的なスポーツ活動が困難な状況にあります。また、卒業後は運動の機会が減り、体力の低下による仕事への影響が懸念されます。そこで、障がいの有無に関わらずスポーツを楽しみ、体力の向上や共生社会の実現を目指す「皆生スポーツ広場」を開催。理学療法士を中心に、医師、健康運動指導士、障がい者スポーツ指導員、ソーシャルワーカー等と連携して行っています。</p>
③ 活動の効果等	<p>過去 5 年間の参加者は、延べ 950 名（障がい者 317 名、一般 330 名、スタッフ名）。個々に合った運動プログラムを提供し、重度の障がいのある方も安心してスポーツを楽しんでいます。皆生スポーツ広場をきっかけに鳥取県ボッチャ協会を設立。県外大会参加の他、公民館の人権学習に招かれるなど、ボッチャを通じて地域で活躍中です。毎年 10 名程度が鳥取県障がい者スポーツ大会に参加、中には全国障害者スポーツ大会に出場する選手もいます。</p>

## 活動の様子

			
レクリエーションスポーツ	スポーツを通じた国際交流会	大会参加（陸上競技）	地域小学生との交流（ボッチャ）